

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

January 2022 vol.93

January						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

◆ 白水小学校

所在地：名古屋市南区松下町

交通：名鉄常滑線「柴田」駅 北東 約 800m

南区は、名古屋市でもっとも古くから人が住んだ場所とされ、区内には、約 7,000 年前の市場遺跡、粕畑貝塚があります。戦国時代は土地の大半が干潟で、塩づくりで栄え、江戸時代になると新田開発が進められていきます。現在、東海道新幹線が通るあたりから西側は、江戸時代に新田開発が行われた地域です。名古屋市の HP では、大江川と天白川に挟まれた白水学区は、源兵衛・丹後江・繰出などの新田があったところ、柴田学区は、大江・北柴田の新田からなり、学区名は柴田屋新兵衛によって開墾された北柴田新田の名をとってつけられた、と紹介されています。

昭和 34（1959）年の伊勢湾台風では、新田開発で開拓されたこの地域が、名古屋市内で最も大きな被害となりました。名古屋市の死者・行方不明者は 1,851 名、そのうち南区は 1,417 名ですが、当時の白水学区（現在の白水学区、柴田学区。伊勢湾台風後の昭和 36 年 4 月に柴田学区が白水学区から独立。）に 861 名が集中しています。

当時の白水小学校では、142 名の児童が命を落としました。白水小学校、伊勢湾台風後に分校した柴田小学校には、それぞれ、伊勢湾台風で亡くなった児童を慰霊するための慰霊碑があります。

白水小学校の「伊勢湾台風友情の碑」は、伊勢湾台風により被災した 142 名の児童、861 名の学区民を慰霊するため、昭和 40 年に建立された碑です。碑文には、「またたく間に水位も二メートル以上、この台座の高さまで上がり、

人も家も呑み込んでしまった。名古屋港より流出した巨木は、この運動場をも埋めつくし、殉難者は学区民八六一名、その内本校児童一四二名を数える未曾有の大災害となった。」と台風の状況が記され、「私たちは二度とこの惨禍を繰り返さないことを、固く誓いたいと思います。」と後世への教訓が述べられています。

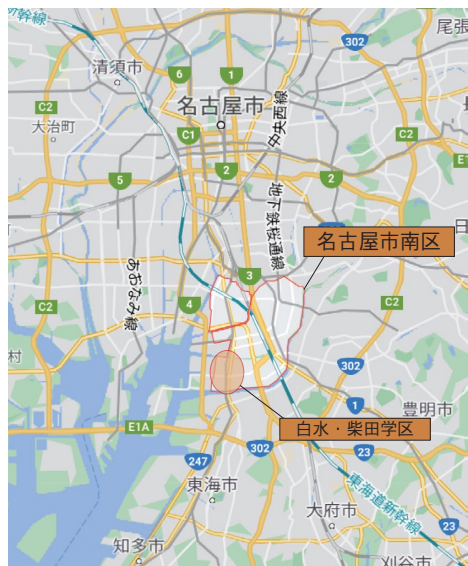
柴田小学校の「伊勢湾台風記念碑」は、分校翌年の昭和 37 年 5 月 26 日に設置されました。碑の裏面には「柴田の子らに台風に散りし命は六十九その子らの夢つぎて生ませ」と刻まれています。

また、白水学区内の弘法堂には「伊勢湾台風殉難者慰霊像」があります。左手に赤ちゃんを抱き、右手におさなごを連れた地蔵像は、旧白水学区公民会が発起人となり、昭和 35 年 9 月に建立されたものです。像の前の慰霊碑には「高潮のあれ狂ひたる白水のその夜の暗に消えし人あわれ」という短歌とともに、当時の小林橘川市長の言葉が刻まれ、白水学区の被害の大きさと慰霊の意を今に伝えています。

少し北の大同大学大同高等学校には、伊勢湾台風の復旧活動で活躍した当時の生徒をかたどった「愛と力の筏像」もあります。紹介した慰霊碑や記念碑をたどっていただきながら、被害が大きかった南区の伊勢湾台風当時の状況に思いを巡らせてみてください。



（左）伊勢湾台風友情の碑（白水小学校）
（中）伊勢湾台風記念碑（柴田小学校）
（右）伊勢湾台風殉難者慰霊像（弘法堂）
（kassen.net HP より）



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

◆白水小学校の周辺には…

● 浜田南公園

所在地：名古屋市南区浜田町

交通：JR 東海道本線「笠寺」駅 南 約 1.5km

この公園は、伊勢湾台風の慰霊のために設置されました。公園内の伊勢湾台風殉難者慰霊之碑には当時の状況のほか、水害にあわれた人達の遺品の雨靴が道路わきに積まれ“くつ塚”と呼ばれるようになったことなどが記載されています。

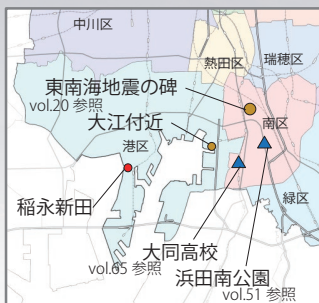


● 大同高校（愛と力の筏像）

所在地：名古屋市南区大同町

交通：名鉄常滑線「大同町」駅 東 約 100m

「愛と力の筏」と名付けられたブロンズ像です。筏（台座）には、高潮水位が記されています。像の銘板には、伊勢湾台風時の高潮の状況、生徒達の献身的な活動などが記載され、こうした活動を長く伝えるために建てられました。



● 東南海地震の碑

所在地：名古屋市南区豊田 名南ふれあい病院

交通：名古屋市営バス「三新通二丁目」停 南すぐ

昭和 19（1944）年昭和東南海地震で、軍事工場の建物が倒壊し、動員されていた労働者と学徒ら 51 人に加え、朝鮮女子勤労挺身隊員 6 人が犠牲になりました。この碑は慰霊のために建てられたものです。

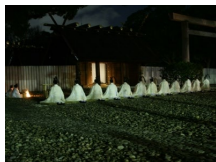


◆詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★ 熱田神宮歳旦祭・初えびす

歳旦祭は、1 月 1 日の早朝に、宮中及び諸神社で行なわれる祭祀で、新年を祝い、皇室並びに国民の繁栄と農作物の豊作を、皇祖・天神地祇に祈願するものです。熱田神宮でも、午前 5 時より、歳旦祭が執り行われます。新しい年に際し、皇室を始め、国家・国民の平安と繁栄を祈願します。

1 月 5 日には、午前 0 時から商売繁盛・家内安全・漁業豊漁を祈る「初えびす」が開催されます。「あきないえびす・はたらきえびす・とりえびす・ちからえびす」など商売繁昌・家内安全の一番札や、福をかき寄せる「福熊手」を我先に受けようと、境内は大勢の参拝者で熱気にあふれかえります。



熱田神宮 HP より

あいちの農産物

あいちの伝統野菜に選定されている八事五寸にんじんは、大正 8 年に元八事の農家が、東京の種苗会社から導入した種から選抜したのがルーツと言われ、昭和初期には、東京や大阪を始め、香港へも輸出されていました。



愛知県園芸農産課 HP より

色が濃くて甘みが強く、煮物や炒め物はもちろん、生でもおいしく食べられます。12 月頃から収穫が始まり、例年 1 月から 3 月頃にかけて、市場に流通します。

● ブレイクタイム ●

♪ 見晴台遺跡

見晴台遺跡は、南区見晴町の笠寺公園周辺にひろがる、旧石器時代から室町時代にかけての遺跡で、中でも、弥生時代中期から古墳時代初頭の遺構が中心となっています。

公園内にある見晴台考古資料館には、出土した資料を紹介する展示室のほか、発掘状況を復元した住居跡観察舎や、環濠断面を表した濠観察コーナーなどの施設があります。見晴台遺跡の発掘調査は、ほぼすべての過程が市民参加で実施されており、半世紀にわたって続けられてきています。



名古屋市博物館 HP より

◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減斎の会・名古屋大学減災連携研究センター 2022 年 1 月）